

# 沖縄県における観光2次交通の機能強化に向けた取組

発表者：岸本太幹（株式会社オリエンタルコンサルタンツ沖縄支社）

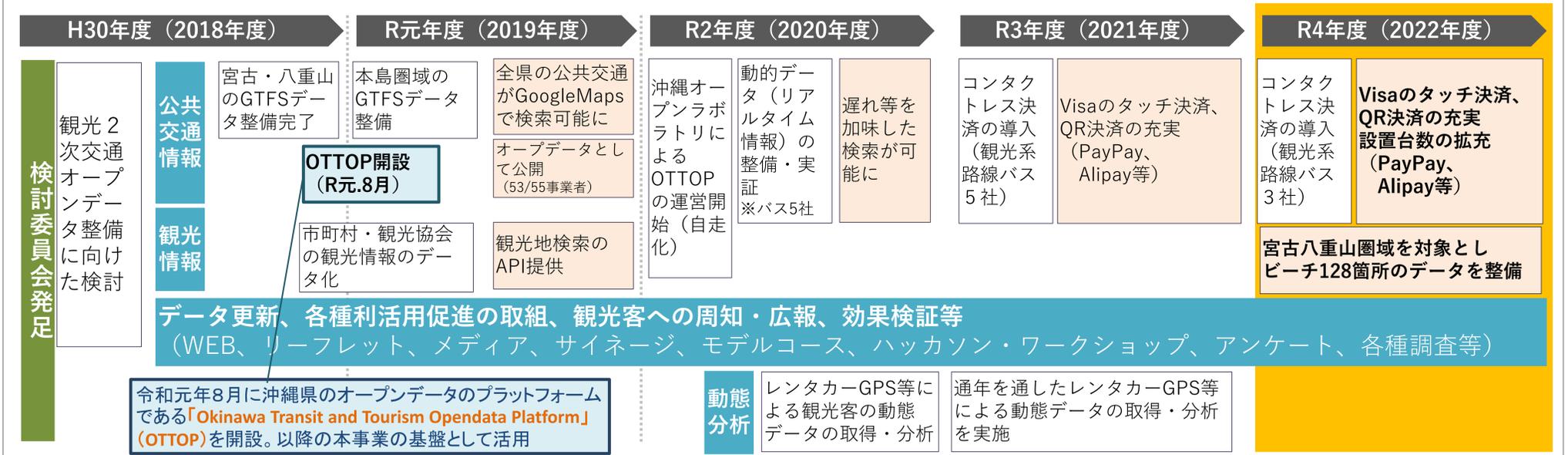
連名：仲宗根健（沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課）、伊藤昌毅（東京大学 大学院情報理工学系研究科 附属ソーシャルICT研究センター 准教授）、稲永健太郎（九州産業大学 理工学部 情報科学科 教授）、神谷大介（琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース 准教授）、谷田貝哲（パスマップ沖縄 主宰）、諸星賢治（合同会社MoDip 代表）、山崎里仁（一般社団法人沖縄オープンラボラトリ 理事）、安部則孝（一般社団法人沖縄オープンラボラトリ 理事）、又吉淳一（一般社団法人沖縄オープンラボラトリ）、中村達也（一般社団法人沖縄オープンラボラトリ）、佐藤貴行（株式会社オリエンタルコンサルタンツ沖縄支社）

## 1. 背景・目的

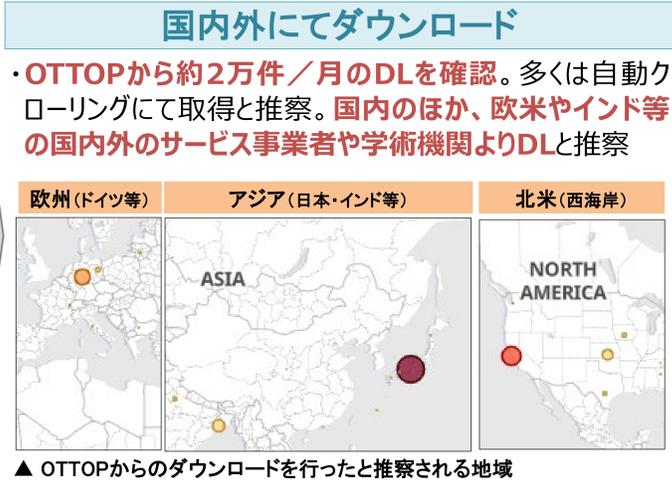
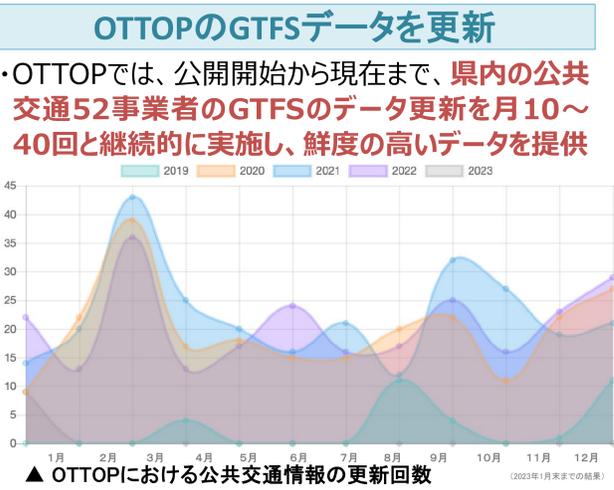
- 沖縄県では、観光2次交通に関する課題を解決するため、平成30年度から公共交通機関等の静的データ（時刻表、バス停位置情報等、GTFS形式）を整備し、オープンデータ化したことで、沖縄県全域の公共交通機関が各種経路検索サービスにて検索が可能に
- 令和4年度は昨年度までに整備した環境を活用しながら更なる移動利便性向上の取組を実施

▼これまでの取組

※本発表は沖縄県事業である「令和4年度 観光2次交通機能強化事業委託業務」「令和4年度 観光情報基盤構築事業委託業務」の実施結果より抜粋し作成。



## 2. データ更新及び利活用促進



### 検索できる県内の公共交通が増加

- 取組の継続により、民間の大手検索サイトでは、沖縄県内の交通事業者の掲載数は過年度から増加

▼ 大手検索サイト等における路線検索の可否状況の事前・事後の比較

調査時期	Googleマップ	Yahoo! 駅すばあと	ジョルダン	NAVITIME
①平成31年1月時点	4/49事業者 (8%)	21/49事業者 (43%)	23/49事業者 (47%)	20/49事業者 (41%)
②令和3年3月時点	55/55事業者 (100%)	27/55事業者 (49%)	31/55事業者 (56%)	41/55事業者 (75%)
③令和4年3月時点	54/54事業者 (100%)	39/54事業者 (72%)	34/54事業者 (63%)	41/54事業者 (76%)
④令和5年3月時点	54/54事業者 (100%)	46/54事業者 (85%)	44/54事業者 (81%)	46/54事業者 (85%)
掲載状況の割合の変化 (④-①)	+92pt	+42pt	+34pt	+44pt

## 利活用促進に向けた各種取組みを実施

### データ活用ワークショップの開催

- OTTOPや各種オープンデータを活用し、ワークショップ「おきなわ空想路線図を作る!」を開催
- (一社) 沖縄オープンラボラトリ主催のもと、自治体、IT事業者、交通事業者、学生等の多様な立場から参加

▲開催したワークショップの様子

### サイネージやWEBサイト等での活用

- OTTOPのデータやAPIを活用し那覇空港や県内の交通結節点のデジタルサイネージ表示にて活用
- その他、民間や自治体等が運営する観光情報WEBサイト等の経路案内でも活用を確認

▲設置したサイネージの様子 ▲活用先のサイトの例

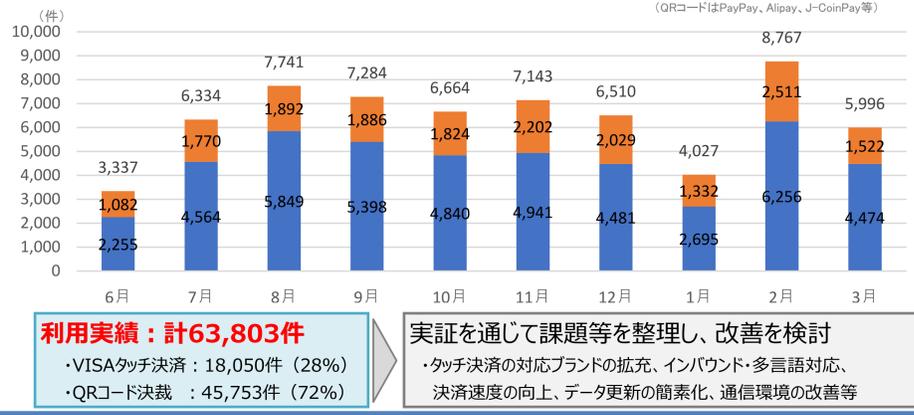
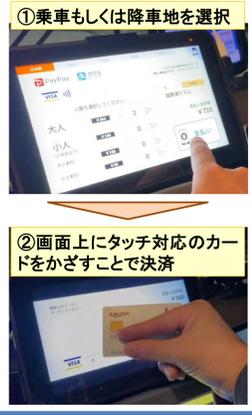
### サイトやチラシによる観光客への周知

- 本取組では、観光客向けへの周知・拡散を目的として、モデルルート等を整理・発信するWEBサイト「おきなわのりもの旅」の作成やチラシを作成・配布
- PV数は約12万件、ユニークユーザ数は9万人

▲作成したWEBサイト

## 3. 観光系路線バスにおけるクレジットカード等の Contacトレス決済導入に係る実証実験

- 世界的に普及が進んでいるタッチ決済機能のあるクレジットカードやQRコード決済に対応した端末を、令和3年度に引き続き観光系路線バス（3事業者）に導入し、その効果を検証（台数は令和3年度から拡充）
- Contacトレス決済の運用にあたってはOTTOPのGTFSデータを活用
- 実証期間は令和4年6月1日～令和5年3月15日にて実施
- 導入の結果、実証期間の利用実績は63,803件となった



### インバウンドの回復に対応し支援ツール等を適宜作成

▲インバウンド向け指差しツール

## 4. 観光地情報のオープンデータ整備

- MaaS等の新たなサービスの促進や観光客が求める必要な情報を適切に流通させる観点から観光情報のデータ整備ならびにオープン化を検討・実施
- 宮古・八重山圏域のビーチ（128箇所）を対象とし、データフォーマットを検討し、整備



## 5. 今後の取組

- 公共交通情報の継続的な取得・提供と更なる利活用促進
- 公共交通を活用した観光の促進（観光客への情報提供）
- 観光情報オープンデータの整備・活用を含む発展的展開
- 那覇空港における観光2次交通情報の案内強化や混雑緩和